

単元名 詩の楽しみ方を見つけよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 比喻や反復などの表現の工夫に気付くとともに、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができる。
(2) 詩の表現の効果を考えることができる。
(3) 詩の表現の効果を考え、詩の楽しみ方を見付けようとする。

標準的な展開例

05010301_001

【教材名】生活の中で詩を楽しもう (P. 182～P. 183)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 詩を読み、お気に入りの詩を選ぶ。 ★詩の楽しみ方を見付けよう。 ○ 6 編の詩を音読して、好きなところや気付いたことを書く。 「蛇」「するめ」「路」「一ばんみじかい抒情詩」「一ぼんの木は」「土」</p> <p>○ 6 編の詩の中からお気に入りの詩を選び、音読する。 ○ 教科書 (P. 183) 下段を読み、次時までに取り組むことについて確認する。</p> <p>2 これまでに読んだことのある詩からお気に入りの詩を選び、楽しむ。 ○ お気に入りの詩の味わい方を考える ・ ノートの最初のページに書き写す。 ・ 画用紙に書いて飾る。 ・ 手紙に添える。 ・ 詩に合った絵をそえる。 ・ 色鉛筆や毛筆で書く。 ○ 作品を作り、紹介し合う。</p>	<p>【評】 詩について気付いたことを書く活動を通して、表現の工夫に気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 詩の好きなところを書く活動を通して、表現の効果を考える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 図書館などにある詩集から、お気に入りの詩を集めておくよう伝える。</p> <p>・ 日常生活の中で簡単に行える楽しみ方を考えさせる。</p> <p>【評】 作品を作り、紹介し合う活動を通して、詩の楽しみ方を見付けようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】